



飲食店が村になった!?

～共に創る新しい飲食ビジネスのカたち～

すすきのに「村」があるのはご存知でしょうか。

新型コロナウイルスの蔓延で大きな影響を受けた飲食店経営者である鈴木さんは、開店前の昼の時間帯を活用して滞在型飲食店「すすきの村」を開村。

市内の各所にあるコワーキングスペースと連携し、村長が人と人をつなぎます。

つながることで生まれる新たな取り組み、そして村長の役割とは？

半年で100人、令和3年6月時点で150人を突破。今も広がり続ける「村コミュニティ」を築き上げたプロジェクトの村長である鈴木さんのお話を聞いて、コミュニティづくりや新たな視点を得るきっかけにしてみませんか？

日時 2021年8月28日(土) 13:30-15:00 (開場13:00)

会場 札幌市民交流プラザ1階 SCARTSコート 札幌市中央区北1条西1丁目
(札幌市図書・情報館に隣接)

定員 50名(事前申込制) 受講料 無料

イベント予約システム (<https://www.library.city.sapporo.jp/event> ※利用には種別券が必要)、もしくは電話(011-208-1113)でお申込みください。感染予防のため、連絡先をご登録いただきます。(感染者が発生した場合、保健所等に連絡先を提供する場合があります。この他の目的には使用しません)



イベント予約システムはこちら

講師 鈴木 慎也(すすき しんや)

es エンターテインメント代表取締役。

すすきのでパフォーマンスしながらカクテルを作る「フレアバーテンダー」を経て、20代後半から飲食店経営に乗り出す。コロナ禍で先を見据えた対応策として、減収を補い、人のつながりを取り戻そうという考えから、2020年9月すすきのの飲食店を「村」に昇立して開いたコワーキングスペース「すすきの村」を開村。「村は全国の飲食店を救うモデルになる」という実感のもと、「村コミュニティ」の全国展開を目指している。



感染対策を実施します

- ・座席の間隔を空けています。
- ・換気が十分なこなわれた自費で実施します。
- ・感染症はマスクまたはマウスシールドを使用します。参加者のうちマスク着用者が続きます。

主催/札幌市図書・情報館、公益財団法人札幌市芸術文化財団



札幌市図書・情報館

〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2階
TEL.011-208-1113 FAX.011-208-1130
HP: <https://www.sapporo-community-plaza.jp/library.html>



SAPPORO



011-208-2111
23-2-146